

第107号

進路特集



発行 学校法人 藤枝学園
藤枝明誠中学校・高等学校
渉外課広報担当
TEL (054) 635-8155
FAX (054) 635-8494
【URL】 <https://www.fgmeisei.ed.jp>
【Email】 meisei@fgmeisei.ed.jp

北大・東北大・名大合格!! 早稲田・慶応・上智など 難関大突破!!

令和3年度大学合格状況



令和3年度の卒業生計18名から、自身の経験から、受験勉強への心構えなどを踏まえ、『合格体験記』として執筆していただきました。
＜関連記事:3面、4面、5面＞

国公立67名
早稲田
慶応
上智
MARCH
東理
関関同立
43名

私は高校に入るまで大学のことはまったく知りませんでした。そのため入学当初は目的もなく、受験勉強が始まり、最初なんてとく勉強していませんでした。しかし、1年の最初の面談で大学について調べてみて第1志望の大学の先生や授業担当を決めておくというのを決めておくというのを



渡辺 大斗
(広幡中出身)
名古屋大学へ進学
(理学部)

早めの志望校確定が大事

私は高校1年生のときには志望校を東北大学と決めていたのですが、東北大学は全国の国立大学の中でも特に総合型選抜(AO試験)に力を入れていて、そのため私は合格できるように対策を



国仲 佳瑞
(附属島田中出身)
東北大学へ進学
(工学部)

「無理せず楽しんでやる」

勉強していくうえでとても大事なことです。3年になり本格的に受験勉強が始まり、最初は右も左もわからず、何をすればいいのかよくわからなかった。ですが、担任の先生や授業担当の先生のおかげもあり、段々と自分の勉強スタイルを確立することができ

ていきました。受験勉強を進めていくと、自分の成績が中々上がらずとも大変でした。勉強しないといけないという感じがする中々体が動かかないという日もたくさんありました。ですが、受験は全て自分のための努力だと気がついてからは前向きに勉強に取り組むことができました。そして志望校に合格することができました。これはいつも支えてくれた先生方、両親、一緒に頑張ってきた友達などたくさんの方のサポートを受けた結果です。これからも周りの人への感謝を忘れず日々成長していきたいです。

私は受験勉強で常に意識し続けたことは「無理せず楽しんでやる」ということです。総合型選抜の活用を視野に入れていました。しかし、私が受けた共通テストを利用する総合型選抜には学力はもちろん、自分の研究したい分野への熱意や知識も必要とされ、そのため私は進んで勉強し、総合型選抜に落ちても前期一般入試で合格できるように対策を

していました。模試で良い成績を残すことは心の余裕と「東北大学で流体力学を学びたい」という強いモチベーションにつながりました。また、私は好きなゲームを通じても地理などの知識を得ることができ、それも楽しむことができました。さらに好奇心があることで読書や勉強で新しいことを吸収する過程が好きで、そのことは結果的に総合型選抜の対策にもつながりました。

以上のように学校の勉強だけでなく、それ以外からも進んで学ぼうとする姿勢が私を合格へと導いたと思います。

全力で受験に取り組み、多くの実績残す

主な合格私立大学

早稲田大 3名	慶応義塾大 1名	上智大 1名
青山学院大 2名	中央大 7名	法政大 5名
明治大 1名	立教大 2名	東京理科大 3名
関西大 4名	関西学院大 2名	同志社大 2名
立命館大 10名	東北医科薬科大(医) 1名	獨協大 1名
文教大 3名	神田外語大 4名	亜細亜大 1名
北里大 2名	杏林大 2名	國學院大 5名
国土館大 1名	駒澤大 2名	順天堂大 3名
昭和薬科大 2名	成蹊大 2名	専修大 14名
大東文化大 5名	拓殖大 9名	玉川大 5名
帝京大 5名	東海大 14名	東京電機大 1名
東京農業大 4名	東京薬科大 1名	東洋大 5名
日本大 26名	武蔵大 1名	明治学院大 7名
神奈川大 13名	関東学院大 6名	横浜薬科大 8名
岐阜医療科学大 2名	静岡産業大 4名	静岡福祉大 2名
静岡理工科大 11名	聖隷クリストファー大 6名	常葉大 131名
浜松学院大 2名	愛知大 1名	愛知学院大 22名
金城学院大 4名	中京大 12名	中部大 4名
豊田工業大 1名	名古屋外国語大 3名	南山大 8名
藤田医科大 1名	名城大 7名	皇學館大 3名
鈴鹿医療科学大 4名	京都外国語大 4名	龍谷大 8名
関西外国語大 1名	近畿大 14名	立命館アジア太平洋大 1名

(他、私立大学合計581名)

令和3年度大学合格状況
明誠ならではの丁寧な指導が合格実績を生み出す

国公立大学合格状況

北海道大 1名	東北大 1名
名古屋大 2名	浜松医科大 1名
静岡大 4名	静岡県立大 13名
北見工業大 1名	岩手大 1名
茨城大 2名	筑波大 2名
千葉大 1名	群馬大 1名
富山大 1名	金沢大 2名
山梨大 2名	信州大 1名
三重大 1名	奈良教育大 1名
島根大 1名	広島大 1名
高知大 2名	大分大 1名
釧路公立大 2名	公立はこだて未来大 1名
青森公立大 2名	高崎経済大 2名
神奈川県立保健福祉大 1名	横浜市立大 2名
都留文科大 2名	長野大 2名
静岡県立農林環境専門職大 1名	兵庫県立大 1名
公立鳥取環境大 2名	広島市立大 1名
山口東京理科大 2名	長崎県立大 1名
熊本県立大 1名	名桜大 1名

(国公立大学合計67名)



目標に対する真直ぐな思いと最後まで諦めない心

「安全志向」ではなく「挑戦意識」を持て

教科書の「精読」で持久力と読解力を錬成



進路課長 本杉 敬典

昨年度の「明誠ニュース第102号」で、「初年度の共通テストは予想以上の高得点となった。2年目は難化が予想される」としたが、結果は一部の教科・科目で予想以上に難化し、合計の平均点も文系・理系ともに大きく下がった。特に「数学ⅠA」が37・96点（前年マイナス19・72点）、「数学ⅡB」が43・06点（前年マイナス16・87点）、「生物」が48・81点（前年マイナス23・83点）と大幅に平均点を下げ、5教科7科目900点満点で文系が508点（前年マイナス45・0点）、理系が514点（前年マイナス57・0点）となった。これは、学力の三要素の一つ「思考力・判断力・表現力」がより重視され、問題文の読解量・情報量の増加に対応できなかった受験生が多かったからであろう。より多くの「文章・資料・表・グラフ・写真」が提供され、限られた時間の中で、それを読み解き必要な情報を取り出し、身につけた知識を組み立てつなぎ合わせ、正確に解答を導き出す力が求められた。センター試験時代よりも高い情報処理能力が、その前提となる長い問題文を読み切る持久力と読み解く読解力が重要となる。対応するためには大切なことは、まずは教科書を「精読」すること、本文の一行一行を、脚注やグラフ・表に至るまで読み切るこ

とだ（これが習慣化すれば、読み流してよい箇所をじっくりと集中して読まなければならぬ箇所を区別もつくようになる。実際に本番の入試で一行一行精読していたのでは解答時間が足りなくなってしまう）。

また読み解いた内容やポイントを他者に或いは自身に「説明・表現」してみよう。理解した情報ならそれが出来る筈だ。休み時間に級友に、自宅学習で自分自身（声を出して）説明し、9時までに学習や図書室での自習では、ノートにポイントを書き記そう。重要なことは声に出すこと・書くことで、黙って手を動かさずに頭の中で整理しようとするとは脳は解かったものとし誤魔化す傾向があるからだ。特にこれからは、記述すること、書くことに拘った学習を心がけよう。国公立大学協会は「高度な記述式試験の実施」を謳っており、今後は個別試験で「表現力」即ち書くことのウェイトがこれまで以上に高くなることと予想される。国公立大学や一般選抜だけでなく、私立大学や総合型・学校推薦型選抜でもその傾向が高くなるのは間違いない。

ただ共通テストが難化したといっても、教科書の範囲から出題される以上、授業こそが最大の受験勉強であり、授業に積極的に参加し自分の意見を表現し級友の意見に真剣に耳を傾ける、この主体的な取り組みが「思考力・判断力・表現力」を高めることになる。

昨年度の3年生の成果は右ページの通りだが、特筆すべきは、共通テスト難化で目標とする得点を取れず事前の判定が厳しかった生徒で、逆転合格を勝ち取ったケースが少なくなかったことだ。そのような生徒に共通する点は、学習活動の軸足を学校に置いていたことで、共通テストが終わる2月の家庭学習期間も登校し、2次対策講座、教科・小論文・面接の個別指導を積極的に活用した。その結果、コロナ禍の大学受験という「非日常」を「日常」に帰させ、リズムを整え平常心で集中して本番に臨めたことが好結果につながったのだらう。勿論、「明誠ダイアリー」で培った自己管理能力がその土台にあったことは言うまでもない。

最後に国公立大を問わず進路実現を果たした先輩方は、目標に対し真直ぐな思いと最後まで諦めない心、「安全志向」ではなく「挑戦意識」を持っていたこと、さらにその取り組み方が、毎日こつこつと積み重ねる正攻法・王道であったことを強調しておきたい。

「受験は団体戦」を意識

令和3年度の入試は、前年から始まった大学入学共通テストの難化、さらに新型コロナウイルス感染症拡大による経済状況低迷の影響から、現役志願者の低下が予想されるなど、各大学の出題傾向や難易度、出願の動向において、全体的に不安を払拭できない中での挑戦となった。また、部活動等の諸大会や各種検定も例年規模で実施されていくこともあり、総合型選抜や学校推薦型選抜、指定校推薦での早期合格を目指す受験生の増加が見込まれた。

そのような中、本校3年生には明誠の進路指導から、実施した「9時までの他の各科目で苦戦を強いられ、得点率で伸び悩む結果となった。だが、続く私大入試や2次試験では、担任や教科担当の的確なアドバイスに沿って学習し、判定を上げ、短時間で多くの情報を整理・統合する力が問われる

基本的知識の習得・情報処理・運用力



前3年学年主任 萩原 正彦

から、実施した「9時までの他の各科目で苦戦を強いられ、得点率で伸び悩む結果となった。だが、続く私大入試や2次試験では、担任や教科担当の的確なアドバイスに沿って学習し、判定を上げ、短時間で多くの情報を整理・統合する力が問われる

から、実施した「9時までの他の各科目で苦戦を強いられ、得点率で伸び悩む結果となった。だが、続く私大入試や2次試験では、担任や教科担当の的確なアドバイスに沿って学習し、判定を上げ、短時間で多くの情報を整理・統合する力が問われる

ミタール9割、勉強法1割



滝井 玲奈

（藤枝明誠中出身）

早稲田大学へ進学

（文化構想学部）

「京都はどうだ？」2年の頃、武藤先生が声をかけてくださった時は耳を疑い、思わず聞き返してしまいました。他大学を志望校にしたものの、3年のGW明け、気づいたら本気で京都大学を志すようになっていました。今改めて受験期を振り返り一言で表すなら「メタール9割、勉強法1割」。

2年次は私が一番楽しみにしていたカリフォルニア修学旅行や留学が中止になり、あまりの絶望に勉強が手につかなくなりました。3年になり豊かな人間になれたと思います。支え続けてくれた家族、友人、先生方への感謝の気持ちを忘れずに自分の置かれた場所でベストを尽くしていきます。

全てに「所懸命」が重要



池谷 玲奈

（藤枝明誠中出身）

上智大学へ進学

（外国語学部）

6年間の明誠生活で学んだことは全てに一所懸命に取り組む重要さです。英数科国際教養コースに多くの時間を英語と向き合い、自分のしたいことを模索しました。

高校生活で特に力を入れたことは、ボランティア活動と英語ディベートです。1年生の時に様々な国の方と英語を使っ



諦めずに続ける…無駄にならない

鵜野 美桜

(金谷中出身)

高知大学へ進学

(理工学部)

あつという間だった3年間の高校生活のなかでも受験生として過ごした1年は、特に早かったように思います。刻一刻と過ぎ去っていく日々のなかで、模試の成績が思うように伸びなかったため、焦りを感じ、不安でした。しかし、最後の最後で、積み重ねてきたことを発揮できたと思います。

私は、テレビやスマホなどが近くにある環境ではあまり集中できませんでした。もちろん電源を切るなどの工夫はしましたが、集中できる場所です。そうして培った努力は大学入試だけでなく、将来必ず役立ちます。みなさんが自信をもって大学生生活を送れることを応援しています。

継続することの大切さ

佐藤 文香

(御前崎中出身)

浜松医科大学へ進学

(看護学部)

慣れない電車に乗り、真新しい制服を着て校門をくぐった日を昨日のように覚えています。永遠のように感じていた3年間は振り返るとあつという間の時間でした。明誠での生活はとても充実していたと思います。

私は怠惰な中学生を送り、勉強の習慣などまるで身につけていませんでした。しかし明誠で部活動にも勉強にも全力で取り組む友人たちを見て変わらなければ、と思うようになりました。高校生活の3年間で勉強にささげることが決意しました。それは決して楽な道のりではありませんでした。模試の判定はなかなか上がらず、受験期には周りの仲間の進路がどんどん決まってくるのを見て焦りを覚えました。

そんな時、先生が春に学び始めれば秋に成果が出る。いつか成績が伸びる時が来るとおっしゃってくださり、諦めずに最後まで頑張ってみようと思いました。先生の言葉通り、入試当日では満足いく結果を出し、無事に第1志望校に合格することができました。

私はこの3年間で、継続することの大切さを学びました。入試はあくまでスタートでしかないのだから、日々精進していきます。

大学では建築関係に進みたい

高森 友佑

(掛川東中出身)

島根大学へ進学

(理工学部)

私の高校3年間は学ぶことが多い3年間だった。私はもともと勉強が得意なわけではなく、理解力も乏しかったので高校1年生から、放課後は授業の復習や課題などを学校で行い、わからなかったことは友人や先生に聞くようにしていた。また通学時間を活用することで英単語などは顕著に成績

として現れたと思う。私は大学で建築関係の仕事に就きたいと考えており、理系を選択した。物理や化学はただ公式を暗記するだけでなく、どういった過程でこのような式ができるかを考えて学習した。そして3年になり、九時まで学習を上手に活用して平均の勉強時間を確保した。共通テストが

「諦めずに続ける」が合格へと

原田 源太郎

(焼津中出身)

名桜大学へ進学

(国際学部)

私は高校入学時から国公立大学に進学したいと考えていました。また、親からの経済的な支えが必要であるが、自立の一步として一人暮らしをすることも考えていました。高校1、2年時はサッカー1部に所属していました。が、目標実現のため、3年から受験勉強に切り替えました。序盤は思った

以上に点数が伸びていきませんが、その後は点数が伸びなくなっていく、精神的にも苦しくなった時もありました。それでも演習を続け、共通テスト本番直前にもう1段階点数を上げることができました。結果的に本番で満足いく結果を出せず、元々目標にしていた大学は叶わなかったが、最後

早めに行動する…が大事

芦澤 穂乃実

(大井川中出身)

東京農業大学へ進学

(農学部)

私は総合型選抜で東京農業大学に合格しました。入試対策では何事も早く行動することが大事だとわかりました。志望理由書であれ、面接対策であれ時間をかければかけ

た分だけ満足のゆくものになっていくと思います。志望理由書では、まず自分自身が何がしたいかを目標にするかをイメージしたり、メモをして志望理由書に書いたりして

「受験は団体戦」を納得

櫻井 太祐

(大洲中出身)

奈良教育大学へ進学

(教育学部)

「受験は団体戦」、この言葉を聞いたときに「そんなことはない」と思っていた。だが今となっては、言葉通りだったと思う。夏期休校中に学校に通ったのは、担任の米山先生が、英語の補講を開いてくださったことがきっかけだ。英語に自信がなかった私にとってありがたいものだった。文法を1つ1つ確認していく。年末年始に毎日のように

早めの準備が大切

佐藤 諒一

(藤枝中出身)

日本大学へ進学

(文理学部)

大学受験の結果が成功か失敗かどうかを判断する材料として、進学する私の考える「良い大学」とは、「自分が行きたい大学、もしくはやりたいことが出来る大学」のことです。たとえこの2つ

諦めずに最後まで奮闘すれば

令和3年度 卒業生からのメッセージ

大学受験の結果が成功か失敗かどうかを判断する材料として、進学する私の考える「良い大学」とは、「自分が行きたい大学、もしくはやりたいことが出来る大学」のことです。たとえこの2つ

に当てはまっていなくても、自分が納得して行ける大学であれば、それはもう「良い大学」なのではないでしょうか。このような話を私がするのは、純に、早くから勉強することが一番の方法です。勉強量と知識が比例するとはいえませんが、知識があれば選択肢は広がっていきます。努力と感謝と笑顔忘れず、いつも可憐にたくましく、誰よりも高く跳べ!!

良い結果は後からついてくる 最後の最後まで頑張りました

志望校決めは早いほど良い

勝山 穂乃香

(附属島田中出身)

筑波大学へ進学

(理工学部)



私は筑波大学に学校型推薦選抜で合格することができました。筑波大学は高校2年生の頃から志望していて、憧れの大学でした。高校3年生の春の二者面談で担任の先生の勧めにより、推薦入試を受験することを決めました。ただ、推薦入試は受験機会を1回増やすだけだと考えていたので、2次試験の対策と平行して推薦入試の準備をするようにしました。3年生の夏までは学校の授業を中心に基礎固めをしていました。また、この頃から推薦入試の募集要項が発表されるので、よく読んで学科試験の科目などを確認しておくという意識が近くなると、推薦入試が近くになると、推薦入

「授業を無駄にしない」が大切

小林 陸

(高洲中出身)

都留文科大学へ進学

(文学部)



私がこの大学への進学を目指したのは3年の10月でした。既に志望大学を決めている人からすれば、驚くほど遅いでしょう。しかし、ゴールを定めることよりも私が大切だと思うことがあります。それは「授業を無駄にしない」ということです。私自身、このことが大切だと気づいたのは2年の後期でした。2年の前期までは、これといって学習に力を入れず、無気力に過ごしていました。しかし、新出単語をマークしたり、教科書に書き込んだりといった、授業を受ける姿勢をかえると、定期テストで少し点が伸びました。この姿勢を続けると、さらに英検2級にも合格しました。

きついけど夢に向かって頑張れ

横田 純

(島田第一中出身)

静岡県立大学へ進学

(看護学部)



私はもとより定期テストの前しか勉強せず、日頃から勉強する習慣が身に付いていませんでした。行きたい大学は決まっていたので3年生になってからは、朝早くに学校に行き勉強する習慣を身につけていきました。そのおかげか志望校の推薦をもらうことができました。推薦入試のためによ

小さな目標を確実にクリアを

上野 魁 柊

(大富中出身)

茨城大学へ進学

(工学部)



私は、茨城大学工学部に前期日程で合格することができました。しかし、私が明確に志望校を決めたのは、3年生のかなり後半になってからのことでした。私の周囲には、1年生の時、すでに志望校を決定している人たちがいます。その人たちは志望校合格という目標に向かって努力をし、確かな実

結果に左右されず最後まで

木村 百々香

(吉田中出身)

名城大学へ進学

(薬学部)



高校3年生になった私は今まで以上に勉強に取り組みました。しかし、成績は思ったように伸びず、共通テストでもいい結果を残すことはできませんでした。

計画的に、諦めず

池田 蒼 紳

(高洲中出身)

信州大学へ進学

(工学部)



私はこの3月で、大学受験生活を良い結果で終えることができました。その中で、これから皆さんが通る長く辛いであろう受験生活において大切な点、それを、今の高2生は1年で仕上げなければ

得意分野で勝ち抜こう

北村 虹 緒

(大富中出身)

立命館アジア太平洋大学へ進学

(アジア太平洋学部)



「将来。ロボットが人の仕事を奪うようになる」と塾の先生から聞いた。誰かの代替になるような存在になりたくない。私は自分の「色」の必要

合格。他の大学は滑り止めで受験した1つの方式のみ合格。その他すべてが不合格でした。常にA判定を取っていたにもかかわらず合格した1つの方式以外の2つの方式は不合格でした。私にとつての最後の試験であった名城大学B方式を残してほとんどの方式が不合格。名城大学は模試ではD判定が最高で受かるわけがないと思ひ込み、ベッドから出られず勉強がままならない日々が続きました。

ばいけません。なので闇雲に勉強をしても効率が悪いだけです。僕自身、本格的に勉強し始めたのは夏からで、かなりスタートが遅れてしまいました。が、試験日までにはやるべきことをリストアップし、それを月単位でやる事に分け、さらにそれを週単位で分けていました。このように一定のゴールを定期的に設ける事で、より効率的に勉強が進められました。2つ目は、諦めない事です。諦めな

結合、そして拡大させることだ。例えば私はワークショップを運営した経験がある。これは自分の興味があった「プレゼンテーション」と「人との出会い」を結合させたものだ。そこで関心を持った「人種差別は世界史で学習した南北戦争や当時の文学史にまで興味の領域を拡大することができた。また、リベラルアーツ部と授業の往復を重ねる中で、このように「1つの出来事から多くの学

今回の宿泊研修で、初めて家族から離れ、クラスメイト達と過ごしました。これは、私にとって期待ではなく恐怖でした。しかし、3日間ともに過ごしてみると、ずっとクラスメイトになりたいと思うようになりました。研修中の夜、同じ部屋



S19HR 楊 晨

高校1年生集団宿泊研修 高校入学の最初の有意義な3日間



研修を通じ自らを成長させることができた

の友人達と話す機会がありました。彼女たちは私の話を辛抱強く聞いてくれました。また、彼女達は中国語の「你好」や「晚安」などと言ってくれました。私は本当に彼女達の善良な情熱に、深く感動しました。

1年生の皆さんは、この研修を通じて、何を学びましたか。私はこの問いに対して、何も答えられないかもしれません。しかし、私はクラスメイ



高校40期生380名・中学20期生72人が仲間入り

令和4年度入学式



J12HR (青島北小出身) 板花 由亜

私は藤枝明誠中学校に入学して、もともと取り組むたいことは、計画的な学習習慣を身につけることです。私は将来、医療の仕事に就きたいと考

えています。そのために、授業で学ぶことの予習、復習、テストに向けた学習、これらを毎日計画を立てて取り組んでいきたいと思っています。

計画的な学習習慣

明誠中学校では、学習だけでなく、学校行事や部活動など様々なことにチャレンジし、たくさんの経験をしたいと考えています。

計画的な学習習慣を身につけて部活動や学校行事、学習を両立して目標に向かって毎日努力していきたいと思っています。

部活動はテニス部に入学しました。まだ始めたばかりでボールを打ち返すだけで精一杯ですが、早く狙ったところへ打ち返せるよう練習を頑張りたいと思っています。



16HR (相良中出身) 中村 秀美

私の描く高校生活

私は明誠高校に入学し、新たな生活の始まりとともに、充実した高校生活を送るためのビジョンを描きました。学習面においては、自分で「理解し

た」と納得できるまで反復して、確実に力をつけることです。特に国際教養コースでは、英語に積極的に触れることのできる恵まれた環境があります。会話を広げるためにも、日々積極的に表現し、自分のものにしていきます。

部活動においては、練習の意図をくみ取り、必要不可欠なスキルを短期間で習得できるよう努力していきます。私はチャリーディング部に所属しました。これは新たな挑戦です。間近で見る先輩方の演技はスピード感にあふれ、パワフルで魅せられます。努力の積み重ねを実感します。

中学1年生オリエンテーションキャンプ

「本当の強さ」を学ぶ



J11HR (高洲南小出身) 内田 佑音

私たちは藤枝明誠中学校1年生72人は、2泊3日のオリエンテーションキャンプを御殿場市にある国立中央青少年交流の家で行いました。

オリエンテーションキャンプでは、研修や野外炊事、ウォークラリーなどを体験しました。研修では小倉先生のお話を聞き、本当の強さを学びました。今まで私は「力が強い」ということは「力が強い」などだと思

それは間違っていました。いくら力が強くても他の人のことを考えられなくては本当の強さといえません。小倉先生は、本当の強さを「優しい心を持つていて、人の痛みが分かる」ということだと教えてくれました。

の心を振



他者を思いやる心を学んだ

中学2年生可睡斎 集団の中での自己を見つける



J21HR (高洲小出身) 板橋 建太

私たちは藤枝明誠中学校19期生は、4月20日から21日まで可睡斎で1泊2

つた。75人という中学で一番大きな集団は、想像以上に動くのが大変だった。研修では正座で黙食や、坐禅を行い、和尚さんのお話を聞いた。私たち2年生は人数が多いので、全体の動きにも支障が出

た。特に食事や移動などだ。食べるのが遅い人やゆっくり移動している人など、様々な人がいるからだ。そこで自分は何も言わずお手本となるのか、他の人たちに合わせるのか、それはどちらが正しいとは限らない。周り



非日常から日常の大切さを学んだ

しかし集団ではルールがある。食事で全員で終わるといいうルールに従い、全員で終わった。この研修を通して集団でのルールの大切さを知った。

研修での学びを部活やH Rでの活動に生かしていきたい。

藤枝明誠中学高等学校吹奏楽部

第33回定期演奏会

※要入場整理券

会場 焼津市大井川文化会館ミュージコ

【第1日目】

日時 令和4年6月25日(土)

開場 17:45 開演 18:30

【第2日目】

日時 令和4年6月26日(日)

開場 12:45 開演 13:30

部活動加入状況

4月末現在で部活動加入状況をまとめたところ、中学生は全体の約80%、高校生は全体の約78%が部活動に加入していた。運動部ではサッカー、野球、バスケットボール、陸上、チャリーディングなど多くの大会で活躍している生徒が多く、今後の大会でもさらなる活躍が期待される。文化部では吹奏楽、M

令和4年度 部活動加入状況

部活動	高校男子			高校女子			マナー・ジョー			高校男子			高校女子			合計
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	
野球	24	26	30	80	0	2	2	1	5	85	5	10	4	19	104	
サッカー	101	108	72	281	0	1	1	2	283	0	0	0	0	0	0	283
陸上競技	13	13	16	42	3	2	3	8	0	1	2	3	53	5	6	68
バスケットボール	22	15	15	52	0	0	0	0	52	4	6	2	12	64	64	
バレーボール	8	7	6	21	0	1	1	22	0	0	0	0	0	0	0	22
柔道	3	3	3	9	0	0	0	0	9	1	1	1	1	1	1	10
剣道	2	3	2	7	1	1	1	3	0	10	4	4	8	18	18	
空手	3	1	1	5	1	1	2	0	7	4	1	2	7	14	14	
テニス	17	12	4	33	7	3	5	15	0	68	15	13	12	40	88	
応援指導	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
囲碁	2	1	3	0	0	0	0	0	3	1	1	1	1	4	4	
吹奏楽	5	6	4	15	10	6	12	28	0	43	8	6	9	23	66	
茶華道	0	0	0	2	7	3	12	0	12	1	4	5	17	0	17	
美術	1	1	1	1	2	7	10	0	11	2	1	3	14	0	14	
写真	1	2	3	2	3	5	10	0	13	2	1	3	16	0	16	
歴史研究	1	1	2	2	2	1	3	0	5	0	0	0	5	0	5	
書道	1	1	1	1	2	3	3	0	4	0	0	0	4	0	4	
科学	2	1	3	2	2	4	0	0	7	1	5	5	11	18	18	
棋道	4	7	3	14	0	0	0	0	14	2	2	2	4	18	18	
チャリーディング	0	0	0	10	6	4	20	0	20	7	4	3	14	34	34	
M L A C	1	1	3	8	3	14	0	0	15	2	2	4	19	0	19	
園芸同好会	1	3	4	0	0	0	0	0	4	1	3	4	8	0	8	
アイス研究同好会	9	9	5	5	0	0	0	0	14	0	0	0	14	0	14	
射撃同好会	3	8	1	12	1	3	1	5	0	17	2	8	5	15	32	
女子バレー同好会	0	0	5	7	12	0	0	12	1	1	3	5	17	0	17	
フットサル同好会	2	6	8	16	0	0	0	0	16	2	2	2	18	0	18	
バドミントン同好会	24	6	30	24	5	6	35	0	65	6	5	0	65	0	65	
編み物同好会 (ニッターズ)	0	0	0	3	3	3	0	0	3	3	3	3	6	0	6	
東大・京大研究会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	237	230	177	644	73	64	55	192	2	5	4	11	847	57	72	70

L A C (リベラルアーツ) 棋道、茶華道などに所属する生徒が多い。中学部でも野球や陸上、テニスなどの部活に加入し、学校生活を充実させようと、バドミントンやフットサル、射撃などの同好会に加入する生徒も多い。部活動を通して文武両道に磨きをかけ、中学校生活をより充実させることを期待したい。